日程　平成 30 年 7 月 22 日～23 日（越後）火打山～妙高山

7/22　妙高高原駅＝笹ヶ峰－黒沢橋－富士見平分岐－高谷池ヒュッテ

7/23　高谷池ヒュッテ－火打山－天狗の庭－高谷池ヒュッテ－大倉乗越－妙高山－天狗堂－スカイケーブル山頂駅－新赤倉温泉＝妙高高原駅

撮影者　松村

001　火打山・妙高山登山道入口.

立派な門をくぐり出発。樹林帯の中の木道歩きがしばらく続く。登山道はとてもよく整備されていて歩きやすい。

002　高谷池ヒュッテへ

黒沢橋を渡ると十二曲りの急登が始まる。九十九折りの曲がり角にはカウントが表示されていた。蒸し暑い中、汗を拭いながら、展望のない樹林帯をひたすら登る。

003　火打山・影火打山

富士見平をこえると、火打山・影火打山の二山が姿を現わす。今夜の宿、高谷池ヒュッテの三角屋根も見つけることができた。

004　夕焼けの火打山

高谷池ヒュッテの前は、広い湿原が広がっていた。夕焼けに染まった雲が山の稜線を引き立てる夕景は、息を呑む美しさだった

005　2 日目　天狗の庭にて

夜明けと共に出発。花の多い木道を緩やかに登って行くと、天狗の庭に出た。大小の池塘が点在し、高山植物が豊富な湿原が広がっていた。

006　火打山山頂

晴れていれば妙高山、北アルプスなど 360 度のパノラマが楽しめるはずだが、残念ながらガスで眺望はない。時折、雲が切れ間から日本海が見え隠れしていた。

007　妙高山へ向かう

火打山から下山途中、天狗の庭の向こうに妙高山が姿を現す。高谷池ヒュッテにいったん戻り、黒沢池ヒュッテを経由して再び樹林帯を登りつめて行く。

008　大倉乗越

妙高山が迫力あるドーム状の山容を見せていた。急坂を登ってやっと辿り着いたが、ここから長助池分岐まで一気に下り、再び 400m の急斜面を山頂まで登り返さねばならない。(写真提供　押久保さん)

009　高山山頂

暑さにあえぎながら急坂を登り切ると妙高北峰の三角点に出た。最高点の妙高大神の南峰はもう少し先にあり、大小の岩が林立する山頂は 360 度の展望が広がっていた。日差しは強く、山頂の温度は 24 度だった。

010　新赤倉温泉へ下山

南峰から大岩の間をぬって下りて行く。鎖場や赤土の滑りやすい急な下りが続き、緊張を強いられる。天狗堂からケーブル山頂駅へ向かい、スカイケーブルに乗り込み新赤倉温泉に到着。いで湯で 2 日間の山旅の疲れを癒した。